

学びは常に玉川の丘に用意されています。
通信教育部で学んだ先輩を中心に、現在の仕事や地域での活躍をインタビューします。

生涯学べ第20回 旅先で出会う美術館



渡辺 聡 名古屋ボストン美術館広報部課長

1999年通信教育部で学芸員資格取得

1998

通大の博物館実習にて展示の実習チームと。学芸員資格取得後は玉川大学キュレーターズに入会。年に一度は東京での学習会などに参加してきた



1999

明治村では集客の営業を担当。お正月のイベントでは明治時代の書生服姿で鏡開きの司会役に。三重県から移築した尋常師範学校・蔵持小学校の前で



2012

杉本美術館には名古屋市出身の杉本健吉画伯の作品を1万点ほど所蔵。25周年記念の展覧会では、所長としてオープニングセレモニーで挨拶した



2013



「ドラマチック大陸」展。アメリカ絵画を代表する画家が描いた風景画と日本でも人気の高い写真家の作品が展示され、ニューイングランド、中部大西洋から西部へと旅する気分を味わえる。5月6日まで開催中

もともと旅が好きで、地図にも興味があったので、大学では地理学を専攻しました。中国語も勉強し、三年のときには交換留学で上海へ。初めて目の当たりにする大陸にひどく感激し、カルチャーショックを受けたのです。

名古屋鉄道へ入社した当時、中国でホテルをつくる計画がありました。駅員や車掌と現場実習を経験して、福岡へ赴任。名古屋へ戻って営業に携わり、次は中国かと覚悟したら、「沖縄へ行ってくれ」と。

お客さまに喜んでもらうためにはどうしたらいいか
広報の視点から企画する美術館の楽しさもある

石垣島から船で三〇分の黒島で、二〇棟あるログハウスの宿泊管理を任されたのです。

警察官や医者もおらず、人口二〇〇人に牛は二、〇〇〇頭というのどかな島。遊びで行くには良いけれど、仕事となれば大変だった。二年で名古屋へ帰ってきたら、今度は文化事業部へ異動し、「明治村へ行け」と命じられました。

明治村は一九六五年にできた博物館で、テーマパークの先駆けでした。明治時代の建築がほとんど

壊されていくなか、当時の名鉄の副社長が何とか保存できないかと考え、全国から建物を移築したものの。かつては年間一〇〇万人ほど来場したけれど、バブル景気がはじけて入場者も激減したのです。お客さまに喜んでもらうためにはどうしたらいいかと考えるうちに、学芸員の仕事にも興味湧いてきました。新聞で通信教育の広告を見て、一件ずつ電話で問い合わせると、玉川大学で学芸員の資格を取れるといわれた。上司も応援してくれ、通大の勉強に集中できました。二年間で資格を取得したときは、明治村の館長が「よくやったね」と褒めてくれました。

仕事の現場では専任の学芸員がいるので、私の役割は彼らの持ち味を引き出して集客に結びつける企画を考えること。「お客さまにいかに来てもらうか」で終わらず、「満足して帰っていただき、次にまた来てもらえる」ことまで考えて、営業につながります。

静岡から五、〇〇〇人ほどの団体客を受けたときは、興津から移築した西園寺公望の別邸「坐漁荘」を案内するガイドが好評で、学芸員チームも積極的に協力してくれた。フランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテル中央玄関での貸し切りパーティーも大成功でした。

さらに日本モンキーパーク、南知多ビーチランドなどの運営管理を担い、杉本健吉画伯ゆかりの杉本美術館では所長を兼任。もう十数年、文化事業に携わってきたので、ちょっと違う仕事もしたいと希望を出したところ、人事部から呼び出され、「名古屋ボストン美術館へ行け」と。「また美術館ですか」とびっくりしました(笑)。

この美術館は米国ボストン美術館の世界で唯一の姉妹館です。広報担当として派遣されたのは二〇

一二年七月。ちょうど六月末に始まった「日本美術の至宝」展では、

長谷川等伯の「龍虎図」や平治物語絵巻など、ボストン美術館所蔵の名品が展示されました。毎日、開館前から長蛇の列ができ、私も臨時窓口でチケット販売を手伝ったほど。二月上旬までの会期中、二六万五、〇〇〇人が来場しました。

その間、企画から関わった「ドラマチック大陸」展は、ナイアガラ滝、グランド・キャニオン、ヨセミテ渓谷……と、アメリカの雄大な自然を風景画でたどる展覧会。美術館でアメリカを旅する気分も楽しんでもらうため、クイズ

ラリーや写真コンテストなど、イベントも企画しました。

今年一月の開暮日にはボストン美術館のキュレーターを招聘して講演会を行い、二月にはギャラリー・コンサートも開催。来館者は若い世代や男性が多く、ふだんあまり美術館を訪れないような人も興味を持ってもらえたことは嬉しかった。

私は旅が大好きなので、休日には妻とドライブがてら、美術館めぐりを楽しんでいます。「街を知る」ことは、自分の発想の原点になっていると思う。だから、今もとてもボストンへ行きたいのです。

全国のミュージアム情報

学芸員がおすすめする情報サイトとしては、「インターネットミュージアム」がある。全国7,800館の美術館・博物館の施設案内、展覧会、イベント、招待券プレゼントなどの情報が満載。他に以下のサイトもおすすめ。
インターネットミュージアム <http://www.museum.or.jp/>
ミュージアム・カレンダー (MusCa) <http://musca.jp/>
ミュージアムカフェ <http://www.museum-cafe.com/>
アートスケープ <http://artscape.jp/index.html>
NHK「日曜美術館」 <http://www.nhk.or.jp/nichibi/>

名古屋ボストン美術館

アメリカのボストン美術館の姉妹館として、1999年に国際的な芸術交流を図る目的で設立された。米国ボストン美術館には古代から現代にいたる約45万点の所蔵品があるが、名古屋ボストン美術館ではそのコレクションからテーマを選び、年3~4回の展覧会を開催している。



愛知県名古屋市中区金山町1-1-1
☎052-684-0101
<http://www.nagoya-boston.or.jp/>

玉川大学通信教育部 <http://www.tamagawa.jp/correspondence/index.html>